

「三原市地域共生社会推進プラットフォーム」設立趣意書

現在、本市の地域福祉を取り巻く環境は、人口減少に加え、少子高齢化、核家族化、価値観の多様化などにより、地域でのつながりが希薄化し、孤独死、虐待、生活困窮、ひきこもりなど、地域が抱える課題が複合化・複雑化してきています。

この課題に対応していくため、市と社会福祉協議会では「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現をめざし、令和5年4月に設置した「地域共生センター」を中心に、相談機能の充実や多機関協働による支援体制の構築に取り組んでまいりました。

一方で、課題解決の促進に向け、支援がより効果的に機能していくためには、潜在的な課題が見逃されることなく、早期に窓口につながることが重要であり、各支援機関が課題認識や多機関連携による支援の方向性を一致させていくとともに、支援機関同士が連携しやすい環境が必要です。

こうした背景から、今後、この支援体制をより一層機能させるため、支援者間における「情報共有」や「顔の見える関係づくり」等を促し、市民の相談支援に向けた考え方の意識共有や支援者間の連携強化の基盤となる「三原市地域共生社会推進プラットフォーム」を発足することとしました。

このプラットフォームを通じ、分野を超えた支援者がつながり、三原の相談窓口がワンチームとなるような体制をつくり、市民が安心して暮らせる地域共生社会のさらなる推進を図ってまいります。

皆様のご賛同、ご参画をお願い申し上げます。

令和6年11月6日

三原市長 岡田吉弘

社会福祉法人 三原市社会福祉協議会 会長 馬越豊文